

# 山形の資源を活用した地域経済の活性化の促進

## 1 提言の背景・趣旨

昨年秋以来、世界的な景気の後退が続いており、本県においても鉱工業生産の落ち込み、有効求人倍率の急激な低下等が起きている。政府の相次ぐ経済対策によって、景気は、若干の持ち直しが見られるものの、まだ厳しい状況にある。

また、少子高齢化社会を迎え、本県の人口は減少を続け、近年、その幅も拡大している。

このような中、本県が持続的に発展するためには、山形の多様な資源を活用した、以下の取組みを通じて、雇用の確保、地域経済の活性化を図ることが求められている。

## 2 提言の具体的内容

### (1) 農林水産業の活性化

本県は、きれいな水と豊かな自然に恵まれ、農業に適した地域であり、本県農産物の付加価値を高めることや他の産業との連携を積極的に進めることによって、農林水産業を活性化し、地域経済の振興を図ることが求められている。

#### ①エコ農業の推進等による本県農産物の付加価値向上

本県でもエコ農業に対する意識が高まり、その取組みが進んでいるが、今後、環境にやさしく安全でおいしい本県の農産物の付加価値を高め、農家の収入増、本県農産物の産出額の増に結びつけるため、エコ農業に対する消費者の理解を図るとともに、効果的な販売方法の検討などを行うこと。

## ②産地化・ブランド化の推進と地産地消の取組みへの支援の充実

農家の収入増、本県農産物の産出額の増に結びつけるため、地域に根ざした県産農産物の産地化・ブランド化の戦略的な推進を図り、また、地産地消の取組みへの支援を一層充実し、子どもたちを含む県民への県産農産物の普及促進を図ること。

## ③観光との結びつき強化

農林漁業体験、農山漁村における暮らしの体験など、本県の農林水産資源を観光面で積極的に活用することにより、農山漁村地域における経済の活性化に資すること。

## ④農商工連携の取組み強化

地域経済の中核をなす農林漁業者や中小企業者の活性化を図るため、農林漁業と商工業の連携による取組み（例：農商工連携ファンドを活用した山形らしい特色ある加工食品の開発や販路拡大など）を一層支援すること。

## （２）観光振興施策の一層の充実

観光は、山形県の魅力を全国に発信する重要な側面があり、また、観光産業は、関連する産業の裾野が広いことから、その振興によって多くの経済波及効果が期待できる。NHK大河ドラマ「天地人」放送、映画「おくりびと」のアカデミー賞受賞、モンテディオ山形のJ1昇格を契機とし、本県の観光は全国的に注目されているが、引き続きこの効果を継続するために、早急に対策を講じ、地域の活性化を図ることが必要である。

### ①地域が主体となった受入態勢の充実に対する支援

地域が主体となった観光客の受入れのための案内人の育成や地元住民の理解を図ることなどの様々な取組みが県内各地で展開されるよう気運の醸成を図ること。

### ②県内の優れた観光資源の発掘と情報発信

県内の観光資源を発掘し、魅力ある観光資源に磨き上げる取組みに対する支援を行うとともに、それらを活用した着地型観光等の商品開発の推進や、様々なメディアを有効に活用しながら戦略的な情報発信に努めること。

※着地型観光：出発地の旅行会社が企画する「発地型」旅行の対義語で、旅行客を受け入れる観光地(到着地)側が企画した旅行。コースには、全国的に有名ではない隠れ名所や伝統料理、生活文化体験などが組み込まれることが多い。

### ③海外からの誘客推進と外国人観光客の受入態勢の充実

東アジア（韓国、台湾、香港、華南等）をはじめ、オーストラリアなど海外からの誘客促進に向け、本県ならではの地域資源を活かしながら国別ニーズに対応した誘客策と海外における現地での誘客活動の強化を行うこと。

また、県内空港を活用した外国人観光客の誘客推進のため、外国人観光客のスムーズな出入国手続きが行える環境づくりの検討を早急に行うこと。

## (3) 環境関連産業の育成・振興などものづくり基盤力の強化

環境関連産業については、市場規模の拡大や雇用創出効果が大きいことが期待されていることから、山形のものづくり技術を活かした環境関連産業の育成・振興を図ること。

また、昨年度提言した「産業振興施策の総合的な推進」に向け、引き続き一層の取り組みを行うこと。

#### ①環境関連産業の育成・振興

山形のものづくり技術を活かし、低炭素社会の実現に資する研究開発の促進や、企業の意欲ある取り組みへの支援を一層充実すること。

#### ②研究・開発部門の誘致策の強化

昨年度の提言を踏まえ、50億円規模の新たな補助制度の新設など、企業誘致施策は強化されているが、今後、本県産業の付加価値向上への寄与が期待される研究・開発部門の誘致にも積極的に取り組むこと。

#### ③自動車関連産業振興のための継続的な取り組みと酒田港の利用拡大方策の一層の充実【H20 提言項目】

自動車関連企業等との取引拡大に向け、自動車関連産業の東北地域への展開に対応し、東北地域における本県の優位性を確保するため、本県製造業の技術力向上などのための支援を一層強化すること。

また、成長著しい対岸地域との貿易拡大などによる酒田港の利用拡大方策を、一層積極的に展開すること。

## 資 料 編

- 有機農産物の認証面積…………… 5 ページ
- エコファーマーの認定状況…………… 5 ページ
- グリーン・ツーリズム交流人口の推移、  
施設別内訳…………… 5 ページ
- 外国人旅行者山形県内受入実績…………… 6 ページ
- 県内リサイクル企業の処理量の推移…………… 6 ページ  
(注目される県内の新たな取組みなど)

○有機農産物の認証面積((財)やまがた農業支援センターの認証実績) (単位:ha)

	H13.3	H14.3	H15.3	H16.3	H17.3	H18.3	H19.3	H20.3
認証面積	128	27	22	18	22	25	42	48

※平成13年4月から有機農産物等表示ガイドラインからJAS法による表示制度に変更された。

<参考>東北六県別有機認定農家戸数(H20.6現在)

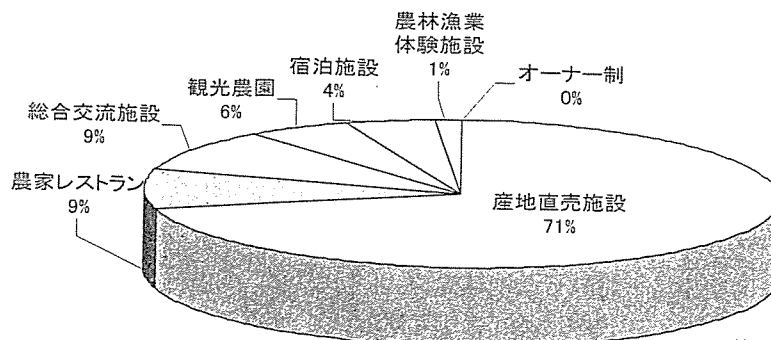
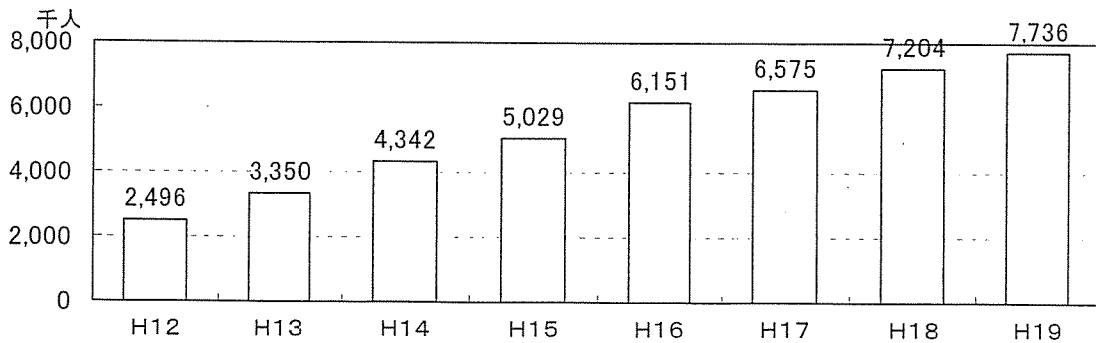
	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
認定農家	113戸	82戸	278戸	118戸	269戸	170戸

○エコファーマーの認定状況(東北ブロック)

	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
エコファーマー数 (H20.9月末:件)	5,651	9,383	8,933	3,907	9,648	18,863
順位	5位	3位	4位	6位	2位 (全国4位)	1位

※資料:農林水産省調査

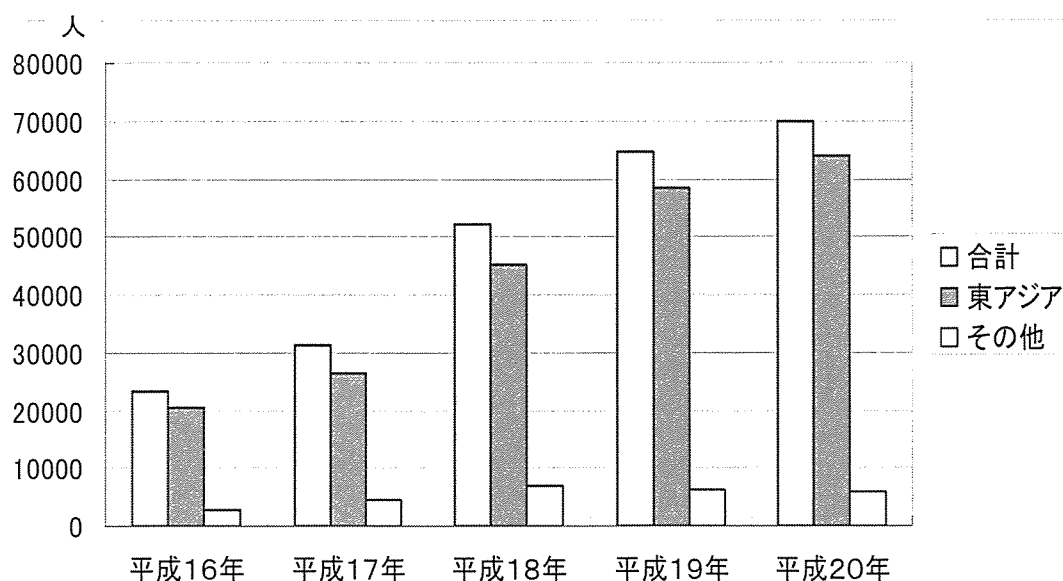
○グリーン・ツーリズム交流人口(グリーン・ツーリズム関連利用施設の利用者数)の推移・施設別内訳



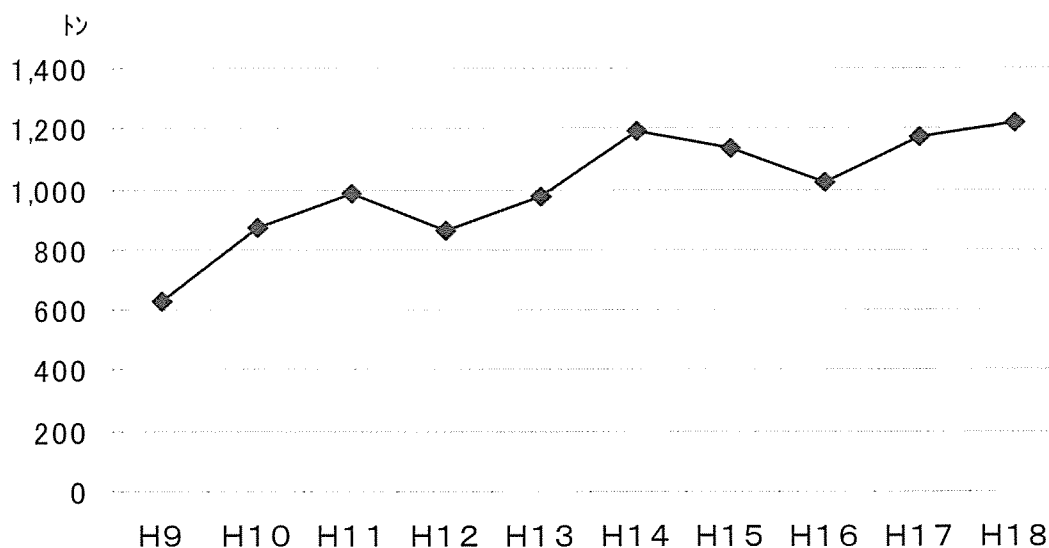
注)「農家レストラン」にはそば店を含む。「宿泊施設」は「農家民宿」、「農業体験等のできる宿泊施設」、「農山漁村宿泊施設」の合計。

※グリーン・ツーリズム:緑豊かな農山漁村において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動

## ○外国人旅行者の山形県内受入実績



## ○県内リサイクル企業の処理量の推移



(注目される県内の新たな取り組みなど)

バイオマス発電：土木工事に伴う伐採木などをガス化して発電（売電）。将来的には剪定枝等の受入れも想定。

H18～H19 経産省補助。H19・6稼動。（やまがたグリーンパワー(株)・村山市）

自動車リサイクル：県自動車販売店協会が中心となり新会社（嵯山形県自動車販売店リサイクルセンター）を設立し、ディーラーから出される廃自動車を解体。

地域連携型の環境ビジネス：新庄市にある(株)ヨコタ東北が中心となって、福祉施設と連携した食品トレーの回収システムを展開。最上地域のほか、庄内でも実施。

酒田リサイクルポート：自動車リサイクル（青南商事）、下水汚泥堆肥化（エルデック）、廃パチンコリサイクル（岡部商店・ユージシステム）、PCB無害化施設（東北電力）等